

Libella りべら

持続可能な未来をみんなでつくる

vol.154
2020.9

りべら vol.154 2020.9

発行所:公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)
〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4階



2019年11月1～5日に開催された御幣島芸術祭・みてアート2019にて、10組の芸術家が「工のまちのアート」として区内の企業や団体とコラボレーションした作品の一部です。
減速機や船舶部品をつくるシミズインダストリーの素材を使い、巨大絵本作家・山田龍太氏が制作した立体作品「宇宙ドミノ/咲く花」。宇宙ドミノとは、空間に絵を描くをコンセプトに制作した磁石を利用した作品。
インスタレーション作品として、そして実際に手に触れて、空中をカラフルなドミノが倒れることで、空間を彩ります。

特集:withコロナ×環境×暮らし

どうしてました?外出自粛期間の過ごし方…1

新型コロナが移動・交通に及ぼす影響と今後 新田保次…4

新型コロナウィルスのもとでの地域社会～医療の現場から 大島民旗…5

ええまちにしよ!西淀川 大垣純一さん…7

あおぞら財団教育・研修事業紹介…9

エコミュージズ所蔵資料紹介…9

ぶらりとゆるりと西淀川めぐり…10

みずしまだより…10

ミサゴの思い 福のボラはおいしい!漁業と西淀川…11

あおぞらフォトギャラリー



第7回公害資料館連携フォーラム in 倉敷を開催しました。フィールドワークでは、水島コンビナート見学後、JFEスチールで労働衛生の取り組み等を伺いました(2019.12.13～15)



谷口たかひささん講演会「地球が危ない! 気候変動の今と未来の暮らし～みんなが知れば必ず変わる～」を開催しました(主催:にしよど親子防災部、あおぞら財団)。今地球で何が起きているのかを学び、私たち一人ひとりに何ができるのかを考える機会となりました。(2020.08.22)



春を告げる姫嶋神社の春まつりですが、今年は新型コロナウイルスの影響で祭事「5色前掛奉納」のみが開催されました。「やりなおし神社」として人気の同社にあやかっって穏やかな日々戻ることを祈りました(2020.4.5)

呼吸ケア・リハビリテーション教室 「楽しく呼吸会」

「楽しく呼吸会」は、ぜん息やCOPD(慢性閉塞性肺疾患)など呼吸器疾患を抱える患者さんやそのご家族の方が参加しています。みんなと一緒に学習し、日頃の素朴な疑問や悩みを気軽にしゃべりしながら、交流しています。

お知らせ



2020年度 今後の予定

- 10/9(金)「栄養について」
 - 1/22(金)「呼吸リハビリ、運動、体力測定」
 - 3/12(金)「薬について」
- ※時間はいずれも13:30～15:00
※場所:グリーンルーム(あおぞらビル3F)
お問い合わせ:あおぞら財団



1960年代から問題となった大気汚染公害によって、多くの方が健康被害を受けました。その責任を問う西淀川公害裁判(1978～1998)では公害患者が勝利しました。患者は「手渡したいのは青い空」を願い、裁判の和解金の一部を使って1996年にまちづくり組織・あおぞら財団を立ち上げました。まちづくり・資料館・環境学習・公害患者の保健・国際交流の事業を行い、持続可能な地域づくりに取り組んでいます。

【あおぞらビル】

【1F】地域交流スペース「あおぞらイコバ」

会議、ギャラリー、コンサート、上映会などにご利用いただけます。
午前:1,000円/午後:1,300円/夜間:1,300円/全日:3,000円

【5F】西淀川・公害と環境資料館(エコミュージズ)

西淀川公害や環境について、地域の歴史などが知りたい人はぜひお越しください。(環境教育等促進法にかかる「体験の機会の場」認定施設)

開館日 月曜日と金曜日(10:00～17:00)/要事前電話予約

※いずれも、予約・お問い合わせは4F事務所へ

【会員・寄附募集】

あおぞら財団への寄附や賛助会費は、税制上の優遇措置があります。

- 賛助会員 会員の方には機関紙「りべら」などをお送りします。
【年会費】個人:年一口5,000円、学生:年一口2,000円、法人・団体:年一口10,000円

●会費・寄附の振込先

【郵便振替口座】記号・番号:00960-9-124893/加入者名:あおぞら財団
【ゆうちょ銀行】金融コード:9900/店番:099/預金種目:当座
/店名:0九九店/番号:0124893/名義:あおぞら財団
【三菱UFJ銀行】歌島橋支店/普通/3728858/財)公害地域再生センター
これまでご案内しておりました、三菱UFJ銀行と口座が変わっておりますので、ご注意ください。

特集
withコロナ
環境
暮らし

幼稚園が休園になり、生活リズムが崩れがちでした。一番困ったのは子どもとの過ごし方。テレビを見る時間が大幅に増えました。近所の公園にはいつも同年齢の子どもたちがいて、友達ができました。近所に友達や知合いがいるのは、心強く感じます。他に、自宅の庭でテントを張って、キャンプ気分でも過ごしてみました。非常食も食べて防災備蓄を見直してみたり。幼稚園の入園式は、両親いずれかのみ参加で、短縮されてわずか10分でした。入園式があっただけマシだったかも知れません。幼稚園が休園にならないか、家族や自分がコロナにかかった場合どう対処するかが不安です。親子で楽しめるゲーム等、自粛になっても家で楽しめるものを集めたいです。



小さなお子さんが
いるおうち…Nさん

どうしてました？
外出自粛期間の
過ごし方

新型コロナウイルス感染拡大防止のために4月7日に発令された「緊急事態宣言」。5月25日に解除されるまでの間、多くの方がこれまでとは違う生活を余儀なくされました。西淀川のみなさんにその時の暮らしぶりをうかがいました。

外出期間中に
働き方が変わった
Sさんご夫妻



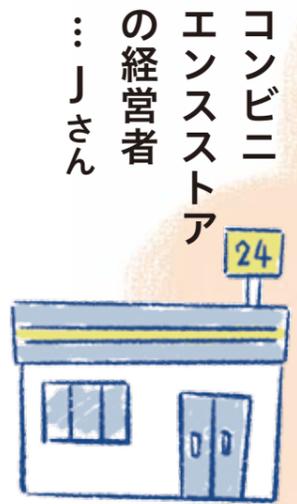
(夫)
普段は電車通勤ですが、感染予防のためなるべく自転車で通勤するようにしました。緊急事態宣言が出てからは、おもに在宅勤務になりました。在宅勤務では、電話でのやりとりや、リモート会議が増えたので、子どもが騒がしくすると集中できないので厳しいです。ただリモート会議は移動時間の短縮など、時間を有意義に使える面もありました。

辛かったです。子ども達が一日中ゴロゴロしているのを見るとストレスが溜まりました。気分転換に毎日、子ども2人を連れて淀川へ散歩に行っていました。てんとう虫を捕まえたり、運動をしたり。公園へ行くのも禁止されていたので淀川が近くにあって良かったです。それだけが自粛期間中の楽しい思い出ですね。今後、また休校になるんじゃないかといつも不安です。オンライン授業での対応など整えてもらいたいです。



(妻)
バイト先は徒歩圏内。小学校が休校になり、夫が在宅勤務になるまでは午前中だけの勤務にしてもらいました。家に閉じこもりがちだったので、仕事に行くのが気晴らしになってありがたかったです。自粛期間中は、家事に追われて

緊急事態宣言の間も含め、コンビニエンスストアは休まず営業しています。レジカウンターに飛沫防止カーテンを設置し、お客様や従業員が触る箇所を指示書に沿って30分毎にアルコールで殺菌消毒しています。従業員へは出勤時の体温報告を義務付け、遊びでの外出や外食の自粛を要請し、マスク着用・手洗いの励行など注意喚起しています。従業員から感染者が出た場合、当然、店を閉めることとなりますが、短い間でも閉めると、売り上げが回復するまで長い時間がかかります。いつ、誰が感染してもおかしくない状況で、正直なところ、毎日電話が鳴るたびに「誰か来れない？誰か感染した？」と不安になり、ストレスで押しつぶされそうです。



うちは、緊急事態宣言期間中も変わらず仕事してました。モノづくりの業界は昨年時点で東京オリンピックに向けた発注が一段落し、元々今年の売上予測は良くないと考えていました。新型コロナウイルスの影響で事業活動全般が止まって、6月位から注文は減りましたが、なんとか持ちこたえています。日本の基礎技術の高さ、世界のモノづくりのコアな部分を日本が担っていると再確認しました。これからは、これまで高めてきたモノづくりの技術を活かし、メーカーだけでなく、消費者と直接やりとりする時代になっていくのではないかと考えています。人が楽しいと思うもの、癒されるもの、欲しい!と思うものを技術を活かして提供していければと思っています。



板金加工、レーザーカットなど
工場経営者…Wさん

緊急事態宣言が出る間、まちはゴースタウンみたいだったわ。宣言が出てから、1週間はテイクアウトだけで、それから1ヶ月ほど休んで再開したけど、お客さんは少ないです。外食の習慣自体が変わったんやと思う。元には戻らへんのとちゃうかな。今はママに手洗い、換気、毎回店内を消毒したり、精一杯してるつもりやけど、少し疲れ気味です。二人で「30年一生懸命やってきたし、もうかまへんかな」と話したり。新しく店を始めたところは、ホンマに大変やろうと思います。常連さんが来てくれるのは、とてもありがたいです。それに加えて、新しく違った形でお客様のニーズにあったサービスを考えなアカンと思ってます。

飲食店を営む
Mさんご夫妻



どんな街に したらいい？ コロナ禍と 地域づくり

コロナ禍と環境問題

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のような、未知のウィルスが出現する背景には、森林などの野生動物の生育環境を破壊する過剰な開発や、温暖化の影響で永久凍土が溶け始めているといった様々な環境問題が関わっていると言われています。

一方、感染拡大を防ぐために行われたロックダウンの思いがけない影響として、世界各地で大気汚染がかつてないほど軽減したと報道されています。

今回のコロナ禍は、こうした世界的な環境問題と、私たち一人ひとりの暮らしとが、密接に関わりあっているということを、痛感させられる出来事でした。

after コロナの地域づくりを見据えて

緊急事態宣言は解除されましたが、公共交通の混雑を避けるためにマイカーでの移動が増えると、地球温暖化にも大気汚染にもよくありません。

欧州では、新型コロナウイルスで打撃を受けた経済を再生するために、環境対策を通じて景気浮揚につなげる「グリーンリカバリー」が提唱されています。コロナ禍以前の社会に戻るのではなく、脱炭素に向けた気候変動対策を推し進め、よりレジリエントな(柔軟性のある)社会・経済モデルへと移行していこうという考え方です。

自粛期間中は移動が制限されましたが、そんな中でもし発熱して、もし近くの病院に診療を拒否されたら、遠くの医療機関に行くこともできず、途方に暮れてしまうでしょう。身近な地域に必要な施設が整った街になれば、コロナ後も安心して暮らせるのではないのでしょうか。

今号では、あおぞら財団の理事のお二人に、交通と医療を取り巻く課題を解説いただきました。人も、暮らしも、環境も大切にしたい、持続可能なまちづくりを、地域みんなで考えていければと思います。

【イタリア・ミラノ市では】

緊急対策としての自転車政策

世界的に感染が広がった新型ウイルスですが、初期の段階で被害が大きかったイタリア・ミラノ市(人口130万人)では、ロックダウン(3/9~5/18)を経て、コロナからの復興プラン「MILANO 2020」が打ち出され、自転車専用道(35km)の整備、時速30キロメートル制限のゾーン30を増やす、などが進められています。ミラノは欧州でも屈指の大気汚染都市で、これまでも環境対策として都心に侵入する車への課税、自転車政策も進めてきており、コロナがその動きを加速化させています。藤



写真2: 塗りたてのベージュの道路。身障者スペース、荷物の搬入搬出スペース、レンタル・スクーターやキックボードのパーキング・スペースなど細かい所まで、道路空間を再配分している。車道は2本、ここでは消却された。



写真1: 自転車専用レーン整備工事が始まっているブエノスアイレス通り。この通りはミラノ中央駅に近く、普段は観光客で賑わうショッピングストリート。

※写真及びキャプションは、ヴァンソン藤井由美ホームページ<https://www.fujii.fr/> より

新型コロナが 移動・交通に 及ぼす影響と今後

新田 保次

大阪大学名誉教授



4月7日に、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発出されて以降、ほぼ4か月近くが経過した。この間、感染状況を勘案して、徐々に宣言の解除がなされたが、全都道府県で解除されたのは、5月25日であった。5月連休以降、新規感染者の減少がみられ、落ち着いたかに見えたが、7月に入り急激に増加し、7月31日現在では、全国で1571人、大阪府では216人と報じられ、一向に減少の気配が見えず、不安な状況が続いている。

「不要不急」というあいまいな緊急事態宣言は、首相が区域と期間を決めて発出するが、外出自粛要請と休業要請は都道府県

幅に減少した。また、劇場、映画館、博物館、スポーツジムなどの健康・文化活動の促進を担う施設は、最後まで休業要請がなされ、生活の幅を広げ、生活の質を豊かにする、いわば人間らしい活動を促進する移動は抑制されたとと言える。

交通に与える影響

このような状況下において、移動の仕方にも変化が起こっている。電車やバスなどの公共交通は密状態になるので、これらの利用を避け、マイカーや自転車に転換する人が増えている。マイカーへの転換は、地球環境への負荷が増大するのだけでなく、自転車については、大いに歓迎したい。また、公共交通が経営危機に陥るのは是非とも避けたいところだが、現状では交通事業者はますます窮地に立たされている。

コロナ後の交通の姿

コロナ禍の収束がいつになるかは、当面見込めないが、筆者としては、このコロナ禍が移動の意味や価値に気づかせてくれた

と思う。それは、通勤や通学、会議や打ち合わせなどにおいて、結構無駄な移動が多いこと。その一方で、外出自粛で要請された、「不要不急」といわれる、健康・文化活動関連の移動の大切さが一層認識されたことであり、このような移動を促進させる交通システムを充実させる必要があるということだ。

それには、身近なバスに代表される公共交通の充実と、地球と人に最も健康的な自転車利用環境整備がどうしても必要である。

新たな「西淀川道路・交通環境再生プラン・提言」づくり、進行中です

あおぞら財団では、大気汚染公害等のクルマ依存社会がもたらした弊害を克服し、持続可能なまちづくりを行うために、西淀川区を中心とした大阪市湾岸部と関連エリアに関する新たな「西淀川道路・交通環境再生プラン・提言」づくりに取り組んでいます。



2019年12月9日の研究会の様子

新型コロナウイルスの もとでの地域社会 医療の現場から

大島 民旗
公益財団法人淀川勤労者
厚生協会附属西淀病院 病院長



COVID-19でないことがわかるまで個室に入院していただき、接触・飛沫感染対策を行うこととしました。

そんな状況下で、周囲の医療機関の中で熱のある患者さんの救急搬送受け入れを断るところが増えてきたため、4・5月は例年の3割増しの救急車を受け入れることになりました(図1)。

「断らない」を台言葉に

当院は218床のケアミックス型(急性期治療だけでなくリハビリ機能や退院調整機能を持つ病棟を併せ持つ)病院で、全身麻酔の外科手術や血管内治療は行っていますが、都市部で高度専門分化医療のはさまで困っている人のよりどころとして、「断らない」を台言葉としています。この原稿を書いている7月末は再流行の波がおこりつつあるタイミングで、大阪でも過去最高の1日感染者数を記録しました。当院もいったん解消したCOVID-19対策本部を再度立ち上げました。

当院では今のところCOVID-19の患者さんの入院治療を行う役割はありませんが、対応可能な疾患・病態であれば、「断らず診療を行う」ことを確認し、発熱患者さんは原則断らずに診療していきます。医療機関は高齢で虚弱な患者さんがたくさん入院されており、COVID-19の患者さんがそうとわからず入院して他の患者さんに感染させてしまうのがもっとも大きな被害をもたらします。肺炎の患者さんは



写真1 ご寄贈いただいた消毒液を手に。

患者の不安・職員の努力

受診される患者さんの中には、典型的な新型コロナウイルス感染症の症状ではないものの、「微熱がある」と仕事に来ると言われ、ずっと自宅待機させられている「相談センター」に電話しても近くの医療機関にかかるように言われ、何カ所か当たったがどこも断られた「など、今回の「コロナ危機」で住民の不安と医療体制の不十分さが露呈した印象でした。相談センターへの電話がつかないという苦情も多く寄せられ、「一見よく頑張っている」様に見える大阪府の対策も実際はお粗末なものでした。実際にCOVID-19に感染した患者さんは、感染防止に気をつけてながら仕事をしていたのに



図1 西淀病院の緊急受け入れ数推移

感染してしまったと、非常に後悔しておられました。5月の連休明けから、病院内でCOVID-19の方とそうでない方が交わることがないように、発熱患者さんは病院外のテントで診療を行っています。深刻だったのが感染防護具(マスク、手指消毒用アルコール、ガウンなど)の不足でした。職員は節約を徹底し本来なら毎日交換するマスクを週1回の交換にせざるを得ませんでした。そんな状況下で医師会や地域の企業や住民の方から寄贈をいただき、とても

勇気づけられました(写真1)。海外で医療崩壊の状況が報道される中、そうならないための努力(政府・自治体への要望、地域での住民への働きかけを全力で行うことを意識し、病院の周りにノボリを立てました(写真2))。



楽しく呼吸会の参加者のみなさん。中国からのマスクをつけて、呼吸をしやすくするためのストレッチのポーズ！(2020.7.10)



写真2 新型コロナウイルスの注意喚起のノボリ

中国からマスクが届きました

緊急事態宣言発出中の4月20日。あおぞら財団が公害・環境問題に関して交流してきた中国の環境NGO・北京市朝日区環友科学技術研究センターの張頌氏から、マスク200枚が届きました。早速、公害患者のみなさんと、マスクが不足していた西淀病院へお渡ししました。送ってくださった張さんにも、配達してくれた方にも、謝々！**藤**

ええまちの しよや! 西淀川

「だんじり」で地域をつないで、
まちを賑やかに」

大垣純一さん

西淀川区地域活動協議会会長、
西淀川区地域振興会

(社福)大阪市西淀川区社会福祉協議会理事など



姫島のご自宅に伺うと、ガレージに椅子を出して待っていてくださった大垣さん。インタビューの間、通りがかった下校中の小学生や新聞配達の方と「こんにちは」「まいど」と声をかけあっておられました。昔の縁側に座っているみたいです。

「昨日、緑陰道路走ったら記録出してん!12キロ1時間2〜3分や。コロナでずっと家おって気がありあまってたからなあ」とおっしゃる大垣会長は、御年77歳。今も地域のために何が出来るかを常に考えておられる、パワフルなお話でした。

(聞き手=藤江徹、原稿作成・構成=栗本知子。2020年7月20日インタビュー)

若いころは地域に関わって はいなかった

生まれは昭和17(1942)年で、戦時中。こころ辺(姫島)は空襲はなかったから、今も古い家が残ってるね。中学校は西淀中学。高校は電気科で、卒業してから、三国で就職して電気の仕事をしてました。

第二室戸台風が来たとき(1961年)は、仕事の帰り、いつもの阪神電車「姫島」駅で降りると「千船」駅まで行って、様子をのぞいてみたわ。今の緑陰道路を境に大和田のあたりが水に浸かって「こらアカン」と思っで、引き返した。その頃は、地域には全然関わってなかったなあ。19歳のとき父親が倒れて、20歳で家業の土木の仕事を手伝いました。その後、西淀川の建設会社で働いたんやけど、28歳のとき、その社長さんが「自分、ここにずっとおってもアカンで。独立せえ」って勧められて。それで、建物の基礎をつくる仕事をしました。最初は一人でやってたけど、箕面の知り合いからまとまった仕事の話ももらったときには、中島で人を寄せて、車で箕面まで行って40棟ほど

の住宅の基礎の仕事をやりました。兵庫や奈良も行きましたよ。景気のいい時代でした。

幼稚園のPTA活動をきっかけに地域に関わる

42歳になった頃(1984年)、子どもが入った姫島幼稚園で、PTAをやらへんかと声がかかった。「PTAなんて、こんな口悪い人間にはできへんがな(笑)」と言って最初は断ってんだけど、その頃通ってた詩吟の先生から、「大垣くん、42歳は厄年や。厄年言うのは、体調が変わるとかと違う。厄を引き受けたらなアカン歳なんや」と言われて、そんなもんかなと。それに、5月に母が亡くなったとき、まだ付き合っても浅いのにPTAの人らがみんな参列してくれたんです。人との出会い、あたたかさを感じて会長としてがんばろうと思いました。その中で、幼稚園の



2018年の姫島の夏祭り だんじり曳行

に声かけて、宮司さんに話を。みんなで草刈ったり、「オレ、小屋の基礎し直すわ」とか、左官屋さんが「ここやるわ」とか、ボランティアで新しく小屋を建てて。それでとうとう、38年ぶりに姫島のだんじりを復活させました。神社の小屋にあった2台、中町、浦脇が保存していただんじりをみんなで修復して、1993年には「姫島地車保存会」を発足しました。だんじりの修復の費用は、地域回って祭りの賛助金として集めました。集めた金で職人さんの日当とか算段して。あ

と、大阪の天満の天神さんから人々を呼んで、龍(へび)踊りとかカネと太鼓の鳴らし方を教えてもらいました。その中で、3台目に大型だんじりを堺市神野町から購入して動かして。祭りがないと活気がない。若い世代を戦略的に巻き込んで、次を育てようと思ってます。

地域の先輩が次を育てる

幼稚園の後も、小中高とずっとPTAをやりました。西淀川区地域振興町会も出来た最初から長いこと会計をやりました。



2019年の第2回「西淀川太鼓・地車パレード」。各地の地車が集まった。

先輩たちには、鍛えられました。地域振興町会の会長会議に初めて参加したとき、当時の会長に「こういうところでは、服装もちゃんとせなアカンぞ」ってビシッと言われました。今も会長会るときには、スーツが出てます。副会長には、二年目はモノ言わんと、ちゃんと話聞いとけ」って言われた。今やったら考えられへんと思うけど(笑)。でも確かに話聞いてて勉強

になった。西淀川全体のことを、だいたい頭に入れていきましたよ。西淀川区政70周年のとき(1995年)にも資金集めました。今の若い人らは、そういう苦労はせんと会長になってはるから、全体をまとめる立場になったら大変かもしれへんね。次を育てるには、ある程度、仕事は任せて、でも任せっぱなしにするのやなくて「ここはやるから、あとはわかるやろ」と。そういう育て方は、いつのまにか身についたね。

西淀川全部のだんじりを集める

あるとき野里の船越さんから「西淀川のだんじりを、みんな集めたい」と声がかかりました。西淀川には、野里・中島・大和田・佃・鼻川と祭りがあるって、みんな長いこと続けてやってる先輩ばかり。結局、僕らが一番若い。また

各地域を訪ねて回って、頭下げで、ようやく「やるか」という話になって。1998年の「西淀川太鼓・地車連絡協議会」の発会式は、十三の中華料理屋に100人ほど集まりましたよ。このときも協賛金集めるのに地



御幣島芸術祭2019にて。

域を回りました。今度は姫島だけやなくて、西淀川全部。資金の広さを考えて、結局、姫島公園になりました。周りを通行止めにするのに大阪府警に話を通して、当日は一個中隊(約40人)ほど警備に来てくれました。それで2003年「西淀川太鼓・地車パレード」をやりました。

先を見越した地域づくり

西淀川は、地域それぞれの歴史があるから、昔は張り合ってた多かったけど、今は仲良くなったね。去年の9月、18年ぶりに2回目のパレードもやれました。郷土文化継承になっていると思います。

子らで子ども神輿をやることになった。1回、2回とやったんやけど、この子らが卒園したら続かへんなあと思ってた。

「姫島を盛り上げよう」とだんじりを復活

ちょうどその頃、姫島神社の奥に小さな小屋があるのをみつけたん。その中に朽ち果てそうになっただんじりがあったんや。「子ども神輿は続かんやろから、これ、ひっぱりだそ」と、今の副会長の島さんとか、いろんな人

今回のコロナでは、地域の行事がみんな中止になって参ったけど、姫島では様子みて、「そろそろ食事サービスはいけそうや」と再開しました。盆踊りも、やぐらは無しで、夜店はやろうかと準備してます。止めたら子どもらがどないなるねんと思うんです。

今度、都構想の勉強会もしようと思ってます。西淀川区は大阪市の端の方やから、いろんな機能が中央の方についてしまったら、影響大きいからね。他の区に先駆けて動こうと思ってます。

あおぞら財団さんには、西淀川高校の跡地の問題とか、もと歌島バスターミナルの跡地活用の話とか、いろいろ情報報れて一緒に動けるからありがたいね。御幣島芸術祭(みてアート)にも参加してるけど、地域の中に根づいてきた。だんだんと賑やかになってきたね。

姫島神社の春祭りでも、ええアイデア出してくれた。子連れで来てもらえるように、屋台を出さんと屋間にやるっていうのは、新しいつながりができる機会になってると思う。屋台の人を押さえるのは大変だったけど(笑)

ぶらりと ゆるりと 西淀川めぐり

サンリバー柏里でおいしいごはん イラスト:とりやま ひろこ

どんな時でも心と身体を豊かにしてくれるのが、おいしいごはん。食べて元気になれるお店を紹介します。どちらもテイクアウトできます。 **谷 佐**

Kitchen K.m.R



白い壁に木の家具が落ち着く、アットホームな洋食屋さん。昨年12月のオープン以降、口コミで評判が広がり早くもサンリバーの人気店です。ドアを開けるとシェフの木野健也さんと奥様の由紀子さんが笑顔で迎えてくれます。「どの行程も全てこだわっています！」とシェフが胸を張るハンバーグ(ランチ900円)。国産牛、豚肉にじっくり火を通した玉葱がたっぷり入っているので甘みとコクがあります。味もコスパも最高！リピーターさんが多いのも納得です。ランチ、オードブル等のテイクアウトも人気です。

住所: 柏里2-6-17 定休日: 日曜、祝日
営業時間: ランチ11:30~14:30、ディナー17:00~21:00
TEL: 06-4862-5174



Osaka コロミツ堂

店名のとおり「コロッケ」と「かき氷」のお店。コロッケと侮ってはいけません。精肉職人30年の店主のこだわりが詰まった自家製ミンチと丁寧にマッシュされたじゃがいものハーモニーは絶品です。もう一つの看板メニュー「かき氷」もこだわりが満載です。自家製の練乳は甘すぎず滑らかな味。旬の果物を使ったかき氷は、新鮮な素材を使っていて、果肉もたっぷり入っています。コロッケはおひとつからお持ち帰りできます。お弁当も好評です。



住所: 柏里2-6-19 定休日: 不定休
営業時間: お持ち帰り11:00~19:30、店内飲食11:00~18:00(L.O)
TEL: 06-6829-7838
facebook <https://www.facebook.com/koromitsudo/>
Instagram <https://www.instagram.com/koromitsudo/>



公害の経験から学び、未来を創る市民を育てる

あおぞら財団教育・研修事業紹介



あおぞら財団 教育・研修事業のご案内

あおぞら財団では、西淀川の公害の解決に取り組んだ貴重な経験をもとに、環境と人権を重視したSDGs時代の学びをコーディネートします。西淀川公害の歴史はもちろん、地域再生のまちづくり、交通マネジメント、環境と防災といったテーマの研修も展開しています。

- ◆ **西淀川フィールドワーク**
西淀川公害裁判を経て、公害対策が進められた地域を歩き、青空をとりもどした西淀川の「今」を体感します。公害患者をはじめ、元企業の担当者、行政、弁護士などの多様な語りをコーディネートできます。
〈プログラム料〉
1時間/10,000円(ガイド2人随行を基本。30人以上参加の場合、要追加料金)
- ◆ **講演・出張授業**
小中学校への出前授業や、財団研究員による講演・ワークショップも承ります。講師料と交通費が必要です。お申込み時にご相談ください。
- ◆ **お問い合わせ**
あおぞら財団 webmaster@aozora.or.jp



タンDEM自転車フィールドワーク!

エコで、視覚障害者や足の弱い人でも乗れるユニバーサルな乗り物である2人乗りのタンDEM自転車は、大阪府内では2016年から公道でも走ることができます。このタンDEM自転車を利用した西淀川フィールドワークをご紹介します。10時半、あおぞらビルにて西淀川区の歴史について講義をした後、タンDEM自転車の乗り方を練習してフィールドワークに出発です。大野川緑陰道路を走りながら、合間合間に西淀川の水害の危険性と大気汚染公害に

ついて解説します。国道43号線では現在の大気汚染対策について説明しました。矢倉海岸でお昼を食べたら、帰りは「なにわ自転車道」などを活用したルートを行います。ルートの約8割は自転車専用道で、安心して走れました。最後はあおぞらビルに戻り、ふりかえりです。これから西淀川で働くみなさんに地域の歴史と今を新たに学んでいただけたようです。(2020.8.5実施) **●**

あおぞら財団附属西淀川・公害と環境資料館エコミュージアム所蔵資料紹介



EcoMUSE 西淀川、公害と環境資料館 エコミュージアム利用のご案内

エコミュージアムでは、公害や西淀川地域に関する図書や、西淀川公害裁判資料、弁護士団や患者会・住民運動などの一次資料といわれる写真や会議資料等を所蔵しています。ぜひ一度、お越しください。

- ◆ **利用案内**
開館時間: 月および金曜 10:00-17:00
*開架図書・資料は一般の図書館と同様に利用いただけますが、資料のレファレンスや展示パネルの解説等をご希望の場合は、2週間前までにご予約をお願いします。

◆ **資料公開規定**
開架図書・資料 貸出可(一部、禁帯出資料あり)。
貸出期間は2週間。
裁判記録: 閲覧のみ
書庫資料: 閲覧のみ

◆ **お問い合わせ**
あおぞら財団 webmaster@aozora.or.jp
エコミュージアム aozora.or.jp/ecomuse/

西淀川公害がわかる資料集をつくらう

エコミュージアム館長: 小田康徳

1970年2月「公害に係る健康被害の救済に関する特別措置法」が制定されたとき、西淀川区でこの年末までの公害病認定数は1241人。1978年4月の西淀川公害裁判提訴の直前、救済法を引き継いだ公害健康被害補償法による累計の認定患者数は5621人。死亡者を除くと4242人が認定患者でした。この激しい健康被害は1970年11月公害国会後の公害対策の進展下に起きていたのです。裁判は住民の健康無視の工場操業から出るSOx、道路政策の中で新たな公害源として猛威を振るっていたNOxとSPMの環境基準以下までの排出差し止めを求めました。西淀川公害訴訟は同じ大気汚染に苦しむ千葉・川崎・倉敷・尼崎・名古屋南部・東京の裁判と連携してたたかわれました。

いまエコミュージアムの資料調査活動が進み、裁判の記録はもちろん、公害患者たちのくらしから裁判後の活動に至るまで、無数の資料の中から歴史に残る活動の跡を選び出す条件はようやく整い始めています。過去の事実が意図的に消されないため、記録を、それも第一級の記録をもれなく集めた資料集を編集することになりました。

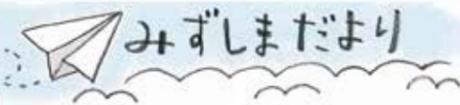


西淀川の空を覆う工場排煙—1963年2月7日大阪気象台撮影。裁判の証拠として提出



合同製鐵との交渉、1991年3月29日の第一次判決後被告側が控訴。白紙に患者の願いが

みずしま財団 岡山県倉敷市にある環境再生・まちづくり活動を行っている団体。倉敷大気汚染公害裁判の和解金の一部を基金として設立されました。あおぞら財団とは姉妹のような関係の団体です。「みずしまの今」を伝えます!



みずしま財団事務局長/藤原園子

環境学習は人をつなぐ

先日フードマイレージ買い物ゲームの講師依頼があり、岡山県高梁市にある山の上の小学校に行きました。食材カードを使い、子ども達は夕食メニューを作ります。「これ食べたいね」「いやこっちはいい」。ほっこりと嬉しい気分で見えてきました。みずしま財団が「世界一の環境学習のまち、みずしま」と打ちだしたのは、環境省の協働取組を受託し、環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会発足後の2014年。「子ども達のためなら」と企業・行政・住民・NPOが同じテーブルにつきました。温故知新とメンバー同士も学び合い、出前授業やレクチャーで活躍中です。みずしま滞在型環境学習コンソーシアムを生み出し、モデルツアーを実施するなど高梁川流域で学びを受



第9回協議会でロードマップ作成のワークショップの様子(2015.6.29)。メンバーそれぞれ異なる水鳥へのイメージや情報の共有を大事にしながら進めている。



みずしま滞在型環境学習モデルツアーで語り合う大学生と漁業者と研究者(2018.11.24)



福のボラは おいしい！ 漁業と西淀川

西淀川のボラはおいしい！

2019年12月、私は福漁港を訪れました。福漁港は大阪市内に残る数少ない漁港のひとつです。大野川緑陰道路を矢倉海岸方面に進んだ終着点にあります。

西淀川の今も昔も見てきたミサゴ。
西淀川がどのように変わってきたのか？
どんな問題を抱えているのか？
それを解決できたのか？
ミサゴのように、時には俯瞰して、時には水面近くから、西淀川の昔と今を捉えます。

なぜ訪れたのかというと、漁師の北村泰規さん・矢野初憲さんにおおぞら市で出店予定のボラを、捌く工程を見学させて頂く為です。西淀川には工場しか無いと思っていたので、漁港があるという事、とても驚きました。ボラという魚も初めて知り、ボラを見学させて頂いた後、ボラを味噌漬けにするお手伝いをしました。数日後、「淀川でとれたボラ」と産地を示し、おおぞら市にて試食会を開きました。くせがなく、試食された方もおいしい！と口にされています。抵抗なく試食される方が大半でしたが、中には「淀川産」という点で試食するかどうか迷

われる方もいました。大気汚染や水質汚濁などの問題は解決したものの、大阪湾や淀川に対するイメージは未だに良くない印象を受けました。「淀川」という西淀川に身近な川。頭ごなしに否定せずに昔と比べて今はどうなのか、しっかり調べたいので判断して欲しいと思いましたが、そう思うのは、私が海や川の汚染が改善された後に生まれた世代だからでしょうか。

西淀川における漁業のはじまり

私が住んでいる佃地域にある田養神社の境内に「佃漁民ゆかりの地」と刻まれた史跡(大阪府建立)があります。側面には「佃島は古来漁業において名があり、殊に正保年間(1940年代)には江戸鉄砲州東の地を開発。一部移住し佃島と名付け今日の盛大に至らしめた」と記されています。これは佃民と徳川家康との縁故の史跡として知られており、かつて西淀川で漁業がさかんであったことが伺えるものです。また、西淀川には野里・

大和田・福・大野・西島と5つの住吉神社があります。住吉神社は海の守護神で、このことから西淀川が漁業のまちであったことが伺えます。

「福村の道路は貝殻でできていた」

福の漁業は明治末期には約200軒(村の戸数の約半分)が漁業を行い、ハマグリ、サルボ貝などの貝の採取が有名で「貝の福」として名が通ったといえます。「福村の道路は貝殻でできていた」とも言われたそうです。またウナギは福の漁師が専門に獲っていました。現在、海ではサヨリ・ボラ・シラスウナギ・ズキ・チヌ・シラス・イカナゴなど、川ではウナギ・シジミ・ハゼなどが獲れるそうです。大正末期から昭和初期にかけて福の漁業は最盛期を迎えましたが、新淀川開削の影響や付近が工場地帯化したため、漁業人口は減少していきました。

魚が売れなくなった時代

経済発展が優先されるなか、された「解決した」と分かってしまったものを良くしていくのは長い時間を要するのではないのでしょうか。空気に対しても、海や川に対しても私を含めた地元の人々が肯定し、受け入れることが大事なだろうなと思いましたが、それを抜きにしても、ボラはとても美味しかったです。



塩麹漬けたボラ



1950年代から大阪湾に注ぐ川にヘドロがたまり臭気が漂い出しました。西淀川の大気汚染が激しかった頃は海も汚染が進んだといえます。1965年頃にはPCBが問題になり、大変な時代がありました。北村さんによればPCBでボラが毛嫌いされるようになったが、以前は各家庭で煮付けや刺身にされていたといいます。またこの頃から、大阪の人々は大阪の海と川は汚れていると認識するようになりまし。しかし、実際には海には魚介類が豊富で、70年代半ばには、船びき網漁業者が1日で1000万円台の水揚げをしたこともあったそうです。

私から地元へ思うこと

「イメージが良くならない」という点では私自身、似たような体験があります。西淀川の大気汚染がひどかった時代を経験してはいないものの、どこか悪いイメージを持っていました。その後、おおぞら財団での活動や資料等で大気汚染が改善されたことを学び、歴史を知りました。それを踏まえて「やっぱり西淀川の空気は元々綺麗な地域に比べれば良いと言えないんじゃないか」と思うことがありますが、「良くなった」「改善



取材に応じる北村泰規さん(2019.12.11)



Reporter
東 里 紗

西淀川在住/奈良県立大学地域創造学部地域創造学科3年/高校生の時に自分が暮らす西淀川を「公害のまち」と決めつけ、よく知ろうとしました。大学進学後、おおぞら財団のアルバイトとして、改めて西淀川の事を学んでいます。

※1 北摂の多田神社へ戦勝祈願の参拝に向かう家康を、佃の漁民たちが神崎川で渡船を務め、助力しました。家康は漁業権を与えて労に報い、以来、大坂の陣で家康側の海上隠密作戦を敢行するなど家康の天下取りを助けたという伝承が残っています。『大阪人 特集西淀川萌えvol.61』p17佃学セミナー 田養神社/2009

※2 PCBとは正式名称をポリ塩素化ビフェニール(Polychlorinated Biphenyl)と言います。電子機器をはじめ幅広い用途に使用されましたが、1968年にカネミ油症事件が発生して、その毒性が社会問題化しました。1972年にPCBの製造は止められました。その影響が福の漁業にも及んだのです。
https://www.jesconet.co.jp/business/PCB/pcb_02.html/
2020年2月21日に閲覧



福漁港(1996年)



福町の工場(1967年)

参考文献・写真の典拠

『西淀川区史』1996年/西淀川区制七十周年記念事業実行委員会
『西淀川今昔写真集』1995年/西淀川区制七十周年記念事業実行委員会
『おもしろいわ西淀川—福の漁港 どんどころ?—』2013年/おおぞら財団
『シリーズわがまち 淀川右岸を散歩して2「歴史散歩」の記録』2011年/文芸社

あおぞら広場

ありがとうございます

(2019年10月～2020年7月 敬称略・順不同)

●入会

松田 知範
西村 とも子

●お助け ボランティア

大西 愛
藤江 めぐみ
宮本 由貴
岡崎 久女
山下 晴美
渡辺 哲敬
NPO法人西淀川
子どもセンター

●寄附・寄贈者

石塚 裕子 一柳 正義
上田 実千代 一柳 睦美
内田 寛 株式会社マルモット
大西 愛 宮本 由貴
奥村 昌裕 香室 結美
柏原 純夫 山原 和子
金 盛子 山崎スチール株式会社
古賀 崇 浅井 真二
清水 万由子 蔵本 幸治
中島 晃 大阪人権博物館
早川 光俊 大塚 健司
森脇 君雄 天野 憲一郎
山岸 公夫 藤江 めぐみ
湯本 浩之 門谷 充男
吉田 巖 遠藤 邦夫
脇田 武利 小川 輝光

緑道散歩

こんなところに小道が!?
散歩やジョギング、サイクリング
の人たちが行きかう大野川緑
陰道路に小道を発見。福地域
のクロマツ林の辺りです。
(2020年5月10日)



スタッフツイッター 編集後記

栗 巻頭の西淀川のみなさんの切実な声。地域再生を
使命とするあおぞら財団は何に取り組みべきか、
痛切に考えさせられます。今号からデザインを
リニューアルしました。西淀川の今を大切に、「公害・環境問題
を自分事にする」解説記事を盛り込んだ編集を試みました。

りべら No.154 2020年9月号(年3回発行)

発行所:公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)
編集人:栗本 知子
〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4階
TEL 06-6475-8885 FAX 06-6478-5885
http://aozora.or.jp/ webmaster@aozora.or.jp

デザイン:(株)バード・デザインハウス
会員の購読料は会費に含まれています。
本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



あおぞら財団
Facebookページ
「いいね!」を
押してくださいね。



スタッフから一言

昨年、店長の渡辺さん
の紹介でくじらカフェ
を知り、何度かお店に
お邪魔しました。おい
しいごはんはと自然体
でおしゃれなお店の雰
囲気に惹かれ、すぐに
大好きになりました。
素敵なご縁が重なっ
て、秋ごろからカフェで
働かせていただいでい
ます。現在はカフェの
2階に住み、併設のゲ
ストハウス「いこね」の管理人も務めています。一緒に働いて
いるスタッフは、みなさんやさしくて個性豊かで、働いてい
るととても楽しいです!この楽しさがキッチンからお客様のもと
まで届いて、みなさまの心地よい時間の一助となりますよ
う、これからも心をこめて働いてまいります。
みなさまのご来店を、心よりお待ちしております!



かど ちあき
門 志亜紀

(姫里ゲストハウスいこね
&くじらカフェスタッフ)

「りべら」に広告を掲載しませんか?

年3回発行の「りべら」は、あおぞら財団会員様をはじめ、
西淀川の公共施設・店舗など、様々なスポットに配布してい
ます。あおぞら財団の活動にご賛同いただける方からの広告
の掲載を募集中です。

【りべら広告掲載費】

中面1/9頁: 1万円/回、中面1/3頁: 3万円/回、中面 全面: 9万円/回
※お問合せ先:あおぞら財団まで TEL06-6475-8885

西淀川菜の花プロジェクト ～エコでつながる西淀川～



現在西淀川区内外約50
箇所で、廃油を回収して
います。回収団体募集中。

エコでつながる
西淀川推進協議会
事務局:浜田化学株式会社
06-6409-1555

広告

デイサービスセンター

あおぞら苑

あおぞら御膳

あおぞらの湯

【お問い合わせ】
TEL: 06-6475-0111 FAX: 06-6475-0114
URL: http://aozoraen.com/
運 営: 社会福祉法人 あゆみ福祉会

2006年10月1日にデイサービスセンターあおぞら苑は産声を上げました。
西淀川公害裁判で四半世紀命をかけて闘った患者さんや家族のみなさま
の思いが、ひとつの形になったのがデイサービスセンターあおぞら苑です。
公害患者さんも高齢になり日々の生活を援助するために、また地域のみな
さまが誰でも利用でき、「西淀川に住み続けて良かった。」と思えるように
との思いがたくさん詰まった場所にしたいと思い設立しました。

◆あおぞら苑(事業所番号 2791000090)
〒555-0032 大阪市西淀川区大和田5丁目7番14号
開所曜日:月曜日～土曜日(祝日は開所) 利用人数: 1日18人

◆あおぞら苑II(事業所番号 2771002173)
〒555-0031 大阪市西淀川区出来島1丁目2番4号
開所曜日:月曜日～土曜日(祝日は開所) 利用人数: 1日25人

Hamada Kagaku
広告

廃棄物でお困りなら 浜田化学のコンシェルジュに お任せください

廃食油
リサイクル

使い終わった廃食油

食品残渣
リサイクル

加工中に発生した食品残渣

廃棄物
リサイクル

その他の廃棄物

お客様に最適なメニューをご提案いたします。

詳しくはホームページをご覧ください。 浜田化学 コンシェルジュ 検索

浜田化学株式会社 ☎06-6411-3457 <http://www.hamadakagaku.co.jp>

広告

医療費の支払でお困りの方 相談下さい。「無料低額診療」実施中!

～「いのちの平等」をめざして～

差額室料をとらず、24時間365日 医療と介護

- ・西淀病院
- ・のぞと診療所
- ・千北診療所

- ・ファミリークリニックあい
- ・姫島診療所
- ・ファミリークリニックなごみ

- ・介護老人保健施設よどの里
- ・在宅総合センターらくらく
- ・社会医学研究所

**看護師
募集中!**

WHO認証
「地域健康増進支援事業所」
認証施設

公益財団法人淀川勤労者厚生協会 TEL 06-6471-0496 URL www.yodokyo.or.jp